

(目的)

第1条 この規則は、地域医療に従事する医師の確保及び充実を図るため、近畿大学（以下「大学」という。）において医学を履修する課程に在学する学生で、県内のへき地の医療機関に勤務し、又は対象医療機関において特定医療に従事しようとする者に対し、和歌山県地域医師確保修学資金（以下「修学資金」という。）を貸与することについて必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象医療機関 次のいずれかに該当するものをいう。
 - ア 医師法（昭和23年法律第201号）第16条の2第1項に規定する病院のうち県内に所在するもの
 - イ 医療法（昭和23年法律第205号）第31条に規定する公的医療機関のうち県内に所在するもの（以下「県内公的医療機関」という。）
 - ウ その他知事が特に認める医療機関
- (2) へき地の医療機関 対象医療機関のうち次のいずれかに該当するものをいう。
 - ア 原則として医療機関のない地域で、当該地区の中心的な場所を起点としておおむね半径4キロメートルの区域内に50人以上が居住している地域であって、容易に医療機関を利用することができない地区（以下「無医地区」という。）及び無医地区ではないがこれに準じて医療の確保が必要と知事が判断し、厚生労働大臣と協議して適当と認めた地区を対象として、へき地における医療活動を継続的に実施できると認められる病院として知事が指定した病院
 - イ おおむね半径4キロメートルの区域内に他に医療機関がなく、その区域内の人口が原則として1,000人以上であり、最寄医療機関まで通常の交通機関を利用して30分以上要する地区及びこれらに準ずる地区として診療所の設置が必要と知事が判断し、厚生労働大臣と協議して適当と認めた地区に所在する診療所
 - ウ 医療法第12条第2項第1号に規定する医師の確保を特に図るべき区域に所在する医療機関
 - エ その他これらに準ずるものとして知事が認める医療機関
- (3) 特定医業 小児科、産科、麻酔科又は救命救急センターでの医師の業務（以下「医業」という。）をいう。

(貸与の対象者)

第3条 修学資金の貸与を受けることができる者は、大学において医学を履修する課程に在学する学生のうち、へき地の医療機関に勤務する医師を養成するための募集に応じて入学した者とする。

(修学資金の貸与の額等)

第4条 修学資金は、月額20万円とし、年10パーセントの利子を付して貸与する。

2 修学資金を貸与する期間は、大学を卒業するまでの間とし、6年を限度とする。

(貸与の申請)

第5条 修学資金の貸与を受けようとする者は、地域医師確保修学資金貸与申請書（別記第1号様式）に次の各号に掲げる書類を添えて、これを知事に提出しなければならない。

- (1) 誓約書（別記第2号様式）
 - (2) 第3条に規定する対象者であることを証する書面
 - (3) 連帯保証人となるべき者の保証書（別記第4号様式）
 - (4) その他知事が必要と認めるもの
- 2 前項の規定にかかわらず、修学資金の貸与を受けたことがある者であって、修学資金の貸与を受けようとするものは、知事が定める日までに地域医師確保修学資金貸与申請書に前項第1号及び第3号に掲げる書類並びに大学の在学証明書を添えて、これを知事に提出しなければならない。

(連帯保証人)

第6条 修学資金の貸与を受けようとする者は、連帯保証人2人を立てなければならない。この場合において、連帯保証人は、独立して生計を営む成年者であって、修学資金を返還する資力を有するものでなければならない。

2 前項の連帯保証人のうち1人は、次の各号に掲げる区分に応じて、それぞれ当該各号に定める者でなければならない。

- (1) 貸与を受けようとする者が未成年者であるとき その保護者（親権を行う者又は未成年後見人をいう。）
- (2) 貸与を受けようとする者が成年者であるとき その父母兄弟又は3親等内の親族

3 前2項の連帯保証人は、修学資金の貸与を受けた者と連帯して債務を負担するものとする。

4 前項の連帯保証人の負担は、保証書（別記第4号様式）及び地域医師確保修学資金借用証書（別記第6号様式）に記載する極度額を限度とする。

（選考及び貸与の決定）

第7条 知事は、第5条の規定による申請があったときは、審査の上、修学資金の貸与の適否について決定する。

2 知事は、前項の規定により修学資金の貸与の適否について決定したときは、地域医師確保修学資金貸与決定通知書（別記第5号様式）により申請者に通知する。

（借用証書）

第8条 修学資金の貸与を受ける者は、地域医師確保修学資金借用証書（別記第6号様式）を知事に提出しなければならない。

（修学資金の一括交付）

第9条 修学資金は、原則として3か月分を一括してそれぞれ最初の月に交付するものとする。

（貸与の決定の取消し及び貸与の休止）

第10条 知事は、修学資金の貸与を受けている者（以下「修学生」という。）が次の各号のいずれかに該当するに至ったときは、貸与の決定を取り消すものとする。

- (1) 大学を退学したとき。
- (2) 心身の故障のため、大学における修学を継続することができなくなったと認められるとき。
- (3) 性行又は学業成績が著しく不良となったと認められるとき。
- (4) 死亡したとき。
- (5) 修学資金の貸与を受けることを辞退したとき。
- (6) その他修学資金の貸与の目的を達する見込みがなくなったと認められるとき。

2 知事は、修学生が大学の課程を休学しているときは、休学した日の属する月の翌月から復学した日の属する月までの間修学資金の貸与をしないものとする。この場合において、これらの月の分として既に貸与された修学資金があるときは、その修学資金は、当該修学生が復学した日の属する月の翌月以降の月の分に充てることができる。

3 知事は、前2項の規定に基づき貸与の決定を取り消し、又は貸与を休止するときは、地域医師確保修学資金貸与決定取消通知書（別記第7号様式）又は地域医師確保修学資金貸与休止通知書（別記第8号様式）により、当該貸与の決定を取り消し、又は貸与を休止する修学生に通知するものとする。

4 知事は、修学生が大学の課程に復学したときは、修学資金の貸与を再開し、地域医師確保修学資金貸与再開通知書（別記第9号様式）により修学生に通知するものとする。

（返還債務の免除）

第11条 修学資金の返還に係る債務の免除に関する条例（平成3年和歌山県条例第24号。以下「条例」という。）の規定により修学資金の返還債務の免除を受けようとする者は、地域医師確保修学資金返還免除申請書（別記第10号様式）に免除を受けようとする事由を証する書類を添えて、当該事由の生じた日から20日以内に知事に提出しなければならない。

（返還免除の決定通知等）

第12条 知事は、前条の地域医師確保修学資金返還免除申請書の提出があったときは、その内容を審査し、修学資金の返還債務の免除につき決定をしたときは、地域医師確保修学資金返還免除決定通知書（別記第11号様式）により、その旨を申請者に通知する。

（期間の計算方法）

第13条 条例本則の表地域医師確保修学資金の項免除の条件の欄第1号に規定する業務従事期間を計算する場合は、医業に従事し、又は研修等（医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修及び医師の専門性に関する研修をいう。）

以下同じ。)を受けた初めの日の属する月から医業に従事し、又は研修等を受けなくなった日の属する月までの月数により計算するものとする。この場合において、当該期間中に休職又は停職の期間があるときは、休職又は停職の期間の開始の日の属する月から休職又は停職の期間の終了の日の属する月までの月数を控除するものとする。

(返還)

第14条 修学資金の貸与を受けた者は、次の各号のいずれかに掲げる事由が生じたときは、当該各号に規定する事由が生じた日から1年以内に修学資金を返還しなければならない。

- (1) 第10条第1項の規定により修学資金の貸与の決定を取り消されたとき。
- (2) 修学資金の貸与を受けた者が、大学を卒業した日から2年以内に医師免許を取得することができなかつたとき。
- (3) 修学資金の貸与を受けた者が、医師免許を取得した後引き続き対象医療機関において、医業に従事しないとき、及び研修等を受けないとき、又は業務に従事し、及び研修等を受けた期間が修学資金の貸与を受けた期間の2分の3に相当する期間(当該期間が9年に満たないときは、9年とする。以下「従事期間」という。)に達しないことが明らかになったとき。
- (4) 修学資金の貸与を受けた者がへき地の医療機関に勤務し、又は対象医療機関において特定医業に従事した期間が、従事期間の2分の1以上の期間に達しないことが明らかになったとき。

(返還期限の延長)

第15条 知事は、特に必要があると認めるときは、前条に規定する修学資金の返還期限を延長することができる。

2 前項の規定により、修学資金の返還期限の延期を求めようとする者は、地域医師確保修学資金返還期限延期申請書(別記第12号様式)を知事に提出しなければならない。

(延滞利息)

第16条 修学資金の貸与を受けた者は、修学資金を返還すべき日までに返還しなかつたときは、当該返還すべき日の翌日から返還した日までの日数に応じ、返還すべき金額に年14.6パーセントの割合で計算した延滞利息を支払わなければならない。ただし、修学資金を返還すべき日までに返還しなかつたことについて、やむを得ない理由があると知事が認めるときは、この限りでない。

(返還の猶予)

第17条 前条の規定にかかわらず、知事は、修学資金の貸与を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、相当の期間、貸与を受けた修学資金の返還及び利息の支払の全部又は一部を猶予することができる。

- (1) 疾病、災害その他やむを得ない理由により修学資金の返還及び利息の支払が困難であると認めるとき。
- (2) 死亡したとき。
- (3) その他知事が認めたとき。

2 前項の規定により返還の猶予を受けようとする者は、地域医師確保修学資金返還猶予申請書(別記第13号様式)に、前項各号に掲げる事由を証する書面を添えて知事に提出しなければならない。

3 知事は、前項の地域医師確保修学資金返還猶予申請書の提出があつたときは、審査の上、書面によりその適否を申請者に通知するものとする。

(届出)

第18条 修学資金の貸与を受けた者で修学資金の返還が完了していないものは、次の各号のいずれかに該当するときは、届出書(別記第14号様式)にその該当する事実を証する書面を添えて、30日以内に知事に届け出なければならない。

- (1) 氏名又は住所を変更したとき。
- (2) 大学を退学し、休学し、復学し、若しくは卒業し、又は停学の処分を受けたとき。
- (3) 大学における修学に耐えない程度の心身の故障を生じたとき。
- (4) 連帯保証人の氏名、住所又は職業に変更があつたとき。
- (5) 大学を卒業した日から2年以内に医師免許を取得したとき、又は取得しなかつたとき。
- (6) 医師免許を取得した後、引き続き対象医療機関において業務に従事し、又は研修等を受けなかつたとき。
- (7) 医師免許を取得した後、引き続き対象医療機関において業務に従事し、又は研修等を受けた期間が従事期間に達したとき。

- 2 連帯保証人は、修学生又は修学資金の貸与を受けた者が死亡したときは、遅滞なくその旨を知事に届け出なければならない。

(連帯保証人の変更)

第19条 修学資金の貸与を受けた者で修学資金の返還が完了していないものは、連帯保証人が死亡したとき、又は破産手続開始の決定その他連帯保証人として適当でない事由が生じたときは、新たに第6条に規定する要件を具備する連帯保証人を定めて、連帯保証人変更申請書（別記第15号様式）を速やかに知事に提出しなければならない。

- 2 知事は、前項の規定による申請があったときは、審査の上、承認をしたときは、当該申請を行った者に対し、その旨を書面により通知するものとする。

- 3 変更後の連帯保証人の負担は、変更前の連帯保証人が負担していた極度額を限度とする。

(補則)

第20条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則による改正後の第3条の規定は、令和2年度以降に入学した者に適用し、令和元年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

- 3 この規則の施行の日前に連帯保証人になった者の修学資金の貸与に係る保証債務については、なお従前の例による。

- 4 この規則による改正前の和歌山県地域医師確保修学資金貸与規則の規定による用紙は、当分の間、所要の修正を加え、なお使用することができる。

別記第1号様式（第5条関係）

地域医師確保修学資金貸与申請書						
※受付番号	第 号	※受付年月日	年 月 日			
※貸与期間	年 月 日から	※決定	貸与決定番号	第 号		
	年 月 日まで		貸与総額	円		
申請者	住所及び電話番号	〒 TEL				
	帰省先住所及び電話番号	〒 TEL				
	氏名(ふりがな) 生年月日	年 月 日生				
大学卒業予定	卒業予定年月	年 月卒業見込み				
学歴	年月日	事項	連帯保証人	住所及び電話番号	〒 TEL	
				氏名等(本人との関係)	(続柄:) 年 月 日生	
				住所及び電話番号	〒 TEL	
				氏名等(本人との関係)	(続柄:) 年 月 日生	
家族の状況	氏名	続柄	生年月日	年齢	備考	

注1 ※印欄は、記入しないこと。

注2 氏名は、自署すること。

注3 申請者及び連帯保証人の押印は、実印を使用すること。

和歌山県地域医師確保修学資金の貸与を受けたいので関係書類を添えて申請します。

年 月 日

和歌山県知事 様

申請者本人氏名



誓 約 書

和歌山県地域医師確保修学資金の貸与を受けることとなった上は、和歌山県地域医師確保修学資金貸与規則の条項を堅く守ることはもちろん、大学卒業後2年以内に医師免許を取得し、かつ、医師免許取得後引き続き対象医療機関において9年以上（うちへき地の医療機関に勤務し、又は特定医業に従事する期間が5年以上）勤務することを誓います。

年 月 日

和歌山県知事 様

申請者本人住所
氏名

㊞

別記第3号様式（第5条関係） 削除

保 証 書

本人住所
氏名 ⑩

上記の者が貸与を受ける和歌山県地域医師確保修学資金については、20,000,000円を極度額として本人と連帯して債務を負担します。

年 月 日

和歌山県知事 様

連帯保証人住所
氏名 ⑩

連帯保証人住所
氏名 ⑩

区 分	連帯保証人	連帯保証人
氏 名		
生 年 月 日		
職 業 (勤務先の名称)		
年 収		
申請者との関係		

注1 氏名は、すべて自署すること。

注2 連帯保証人の職業については、勤務先、職名（自営業の場合は、その営業種目）を具体的に記入すること。

注3 申請者及び連帯保証人の押印は、実印を使用することとし、その印鑑証明書（3か月以内に発行されたものに限る。）を添付すること。

注4 連帯保証人の所得を証明する書類（前年の源泉徴収票の写し、市町村長が発行した所得証明書、確定申告書の写し等）を添付すること。

（その1）

地域医師確保修学資金貸与決定通知書（貸与する場合）

第 号
年 月 日

決定番号 第 号
住 所
氏 名 様

和歌山県知事



年 月 日付けで申請のあった和歌山県地域医師確保修学資金については、下記のとおり貸与することに決定したので通知します。

記

- 1 貸与総額 円
- 2 貸与月額 円
- 3 貸与期間 年 月分から 年 月分まで

(その2)

地域医師確保修学資金貸与決定通知書（貸与しない場合）

第 号
年 月 日

住 所
氏 名 様

和歌山県知事



年 月 日付けで申請のあった和歌山県地域医師確保修学資金については、下記の理由により貸与しないことに決定しましたので通知します。

記

地域医師確保修学資金借用証書

収
入
印
紙

金 円 也

和歌山県地域医師確保修学資金として、 年 月 日から 年 月 日まで
の間、月額 円の貸与金を上記のとおり借用します。

年 月 日

和歌山県知事 様

決定番号 第 号

住 所

氏 名

㊞

上記の者が受ける修学資金については、 円を極度額として本人と連帯してその債務
を負担します。

連帯保証人氏名

㊞

連帯保証人氏名

㊞

注1 氏名は、自署すること。

注2 本人及び連帯保証人の押印は、実印を使用すること。

地域医師確保修学資金貸与決定取消通知書

第 号
年 月 日

決定番号 第 号
住 所
氏 名 様

和歌山県知事



あなたは、 年 月 日から和歌山県地域医師確保修学資金の貸与を受けていますが、次の事由は、和歌山県地域医師確保修学資金貸与規則第10条第1項第 号に該当しますので 年 月分からの貸与の決定を取り消します。

取
消
し
の
事
由

地域医師確保修学資金貸与休止通知書

第 号
年 月 日

決定番号 第 号
住 所
氏 名 様

和歌山県知事



あなたに対し、下記のとおり和歌山県地域医師確保修学資金の貸与を休止することに決定したので通知します。

貸与を受けている者の氏名	
--------------	--

貸与決定総額	円	貸与決定番号	第 号	貸与月額	円
--------	---	--------	-----	------	---

貸与休止期間	年 月分から 年 月分まで
--------	---------------

休 止 事 由	
------------------	--

地域医師確保修学資金貸与再開通知書

第 号
年 月 日

決定番号 第 号
住 所
氏 名 様

和歌山県知事



年 月 日付け 第 号で貸与を休止した和歌山県地域医師確保修学資金については、下記のとおり再開したので通知します。

記

- 1 貸与月額 円
- 2 貸与期間 年 月分から 年 月分まで
- 3 既貸与額 円
- 4 既貸与期間 年 月分から 年 月分まで
- 5 再開理由

地域医師確保修学資金返還免除申請書		
1 貸与を受けた修学資金の額	円	
2 免除を受けようとする額	円	
3 大学を卒業した年月日	年 月 日卒業	
4 医籍登録番号及び登録日	第 号 年 月 日登録	
5 勤務等した医療機関の名称及び期間	医療機関の名称	期 間
		年 月 日から 年 月 日まで
6 やむを得ない理由により医業等に就けなかつた期間	事 由	期 間
		年 月 日から 年 月 日まで
7 免除を受けようとする事由		
<p>上記のとおり和歌山県地域医師確保修学資金の返還の債務の免除を申請します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>和歌山県知事 様</p> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">決定番号 第 号 住 所 氏 名</p> <p style="text-align: right;">㊞</p>		

注 死亡の場合にあっては、連帯保証人が連名で申請すること。

（その1）

地域医師確保修学資金返還免除決定通知書（免除する場合）

第 号
年 月 日

決定番号 第 号
住 所
氏 名 様

和歌山県知事



年 月 日付けで申請のあった地域医師確保修学資金返還免除については、下記のとおり免除することに決定したので通知します。

記

- 1 貸与総額 円
- 2 返還免除額 円
- 3 貸与期間 年 月分から 年 月分まで

(その2)

地域医師確保修学資金返還免除決定通知書（免除しない場合）

第 号
年 月 日

決定番号 第 号

住 所

氏 名 様

和歌山県知事



年 月 日付けで申請のあった地域医師確保修学資金返還免除については、下記の理由により免除しないことに決定したので通知します。

記

地域医師確保修学資金返還期限延期申請書		
返還すべき額		円
返還理由	発生年月日	事由
	年 月 日	
返還延期の理由	延期期間	事由
	年 月 日から 年 月 日まで	
<p>上記のとおり和歌山県地域医師確保修学資金の返還期限の延期を申請します。</p> <p>年 月 日</p> <p>和歌山県知事 様</p> <p style="text-align: right;">決定番号 第 号 住 所 氏 名</p> <p style="text-align: right;">印</p>		

地域医師確保修学資金返還猶予申請書	
返還未済額	円
猶予を受けようとする期間	年 月から 年 月まで
猶予を受けようとする理由	
<p>上記のとおり和歌山県地域医師確保修学資金の返還の猶予を申請します。</p> <p>年 月 日</p> <p>和歌山県知事 様</p> <p>決定番号 第 号 住 所 氏 名</p> <p style="text-align: right;">⑩</p>	

届 出 書

届 出 事 項

届 出 事 項 の

発 生 年 月 日

届 出 内 容

上記のとおり届け出ます。

年 月 日

和歌山県知事 様

決定番号 第 号

住 所

氏 名



別記第15号様式（第19条関係）

連帯保証人変更申請書				
旧連帯保証人	ふりがな 氏 名	Ⓜ	生年月日	年 月 日
	住所及び 電話番号	〒 TEL	被貸与者との 続柄	
	変更する 理由			
	変更年月日			
新連帯保証人	ふりがな 氏 名	Ⓜ	生年月日	年 月 日
	住所及び 電話番号	〒 TEL	被貸与者との 続柄	
	職業 (勤務先の名称)		年 収	
	届出者の貸与決定番号第 号に係る和歌山県地域医師確保修学資金については、規則第19条第3項に規定する額を極度額として被貸与者と連帯して債務を負担します。			
<p>上記のとおり申請します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>和歌山県知事 様</p> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">貸与決定番号 第 号 住 所 氏 名 Ⓜ</p> <p style="margin-top: 20px;">注1 申請者（被貸与者）及び連帯保証人は、自署すること。ただし、連帯保証人が死亡したことにより変更する場合は、この限りではない。 注2 新連帯保証人の職業は、勤務先、職名（自営業の場合は、その営業種目）を具体的に記入すること。 注3 申請者（被貸与者）及び連帯保証人の押印は、実印を使用するものとし、新連帯保証人については、その印鑑証明書（3か月以内に発行されたものに限る。）を添付すること。 注4 新連帯保証人の所得を証明する書類（前年の源泉徴収票の写し、市町村長が発行した所得証明書、確定申告書の写し等）を添付すること。</p>				